



転入者アンケート結果報告

令和7年4月 ~ 令和8年3月

企画政策部・企画調整室
協力 市民部・市民年金課

サマリ

- 令和7年度に本市に転入した2人以上世帯に転入アンケートを実施。**194世帯から回答**を得られた。
- 世帯構成では、**夫婦・パートナー世帯が全体の5割**。18歳以下のこどものいる世帯は37%となった。
- こどもがいる世帯のうち、**こども1人の世帯が全体の52%**。また、未就学児の転入が大半を占める。
- 転入のきっかけとしては、**「住宅購入等」や「結婚等の世帯構成の変化」を挙げる**世帯が多い。
- 転入先として京田辺を選んだ理由としては、**「通勤・通学の交通利便性」「実家、または実家の近所」「自然・街並みなどの環境の良さ」**が上位。
 - 世帯構成や地域別に見ると、ほぼ同じ傾向。南部地域のみ「職場や学校の近さ」の選択が多い傾向。
- **京田辺のまちづくりに期待することとして、「子育て環境の充実」「公共交通ネットワークの整備」「教育環境の充実」**が上位。
 - 18歳以下のこどもがいない世帯でも「子育て環境の充実」が最上位にあがるのが特徴的な結果。

調査概要

■ 調査目的

総合計画・総合戦略等に基づくまちづくりに活用するため、本市への転入世帯に転入理由等を調査するもの。

■ 調査概要

調査対象	世帯員2人以上の転入世帯	調査方法	窓口(市民年金課)での調査票の配布
回答数	194世帯	調査期間	令和7年4月～令和8年3月

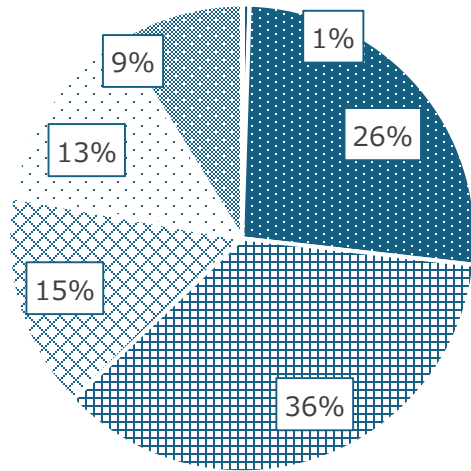
■ 調査項目

転入先郵便番号	(数字入力)	前居住地	国内or国外 / 市町村(自由記入)
世帯主年齢	「～20代」、「30代」、「40代」、 「50代」、「60代」、「70代～」	世帯構成	「夫婦・パートナー」 「18歳未満を含む2世代」「18歳以上のみの2世代」 「18歳未満を含む3世代」「18歳以上のみの3世代」 「その他」
子どもの人数 ※子育て世帯の場合のみ	「未就学児」「小学生」「中学生」 「高校生以上～18歳まで」	転居のきっかけ ※最大2つまで	「結婚・出産などの世帯構成の変化」「住宅の購入・借換」 「親族との同居・近居」「自身・家族の仕事の都合」 「学校の都合」「Uターン」「移住」「その他」
転入先として 選んだ理由 ※最大3つまで	「災害が少なく、安全」「自然・街並みなどの環境が良い」「公園が利用しやすい」「医療機関が充実している」 「高齢者や障がい者向けの福祉環境が充実している」「子育て・教育環境が良い」「教育・保育施設が充実している」「新規就職・就農」 「市内に働く場所がある」「自身や家族の職場や学校が近い」「通勤・通学の交通利便性がよい」「買い物など日常生活の利便性が良い」 「住宅の規模・価格がよい」「実家に住む、または実家の近所に住む」「以前住んでいた」「親族や家族に勧められた」「その他」		
まちづくりに対して期待すること ※最大3つまで	「企業立地や産業の創出による雇用の場の創出」「子育て環境の充実」「公共交通ネットワークの整備」「教育環境の充実」 「環境に配慮した取り組み」「福祉サービスの充実」「文化・芸術スポーツ活動の場の創出や支援」「その他」		

アンケート結果①（世帯年齢・構成・地域）

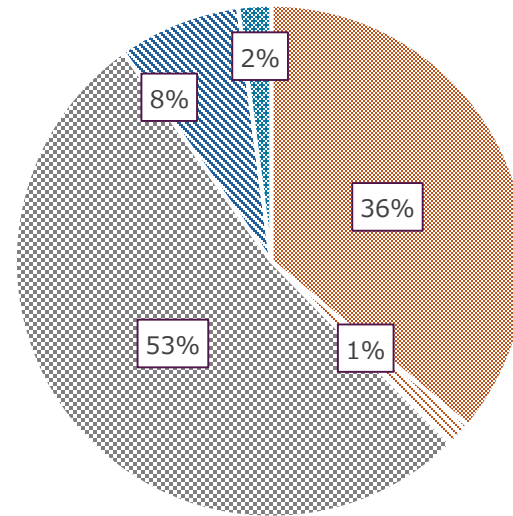
転入世帯の世帯主年代では、40代以下で全体の77%超を占めた。
 世帯構成では、18歳未満の子がいる世帯が37%、夫婦が53%となった。
 地域別で見ると中部が60%を占める。

◆回答者の世帯主年代別世帯数



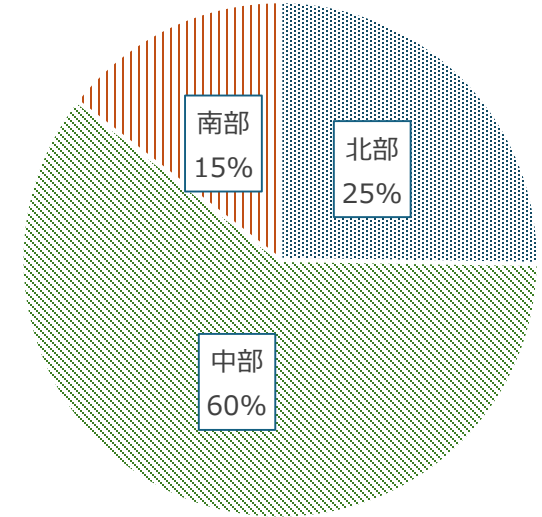
■ 10代 ■ 20代 □ 30代 × 40代 ・ 50代 ※ 60代～

◆世帯構成割合



- ※ 18歳未満を含む二世帯（親・子）
- ※ 18歳未満を含む三世帯（親・子・孫）
- ※ 夫婦・パートナー
- ※ 18歳以上のみの二世帯（親・子）
- ※ 18歳以上のみの三世帯（親・子・孫）
- ※ その他

◆転入先地域別割合



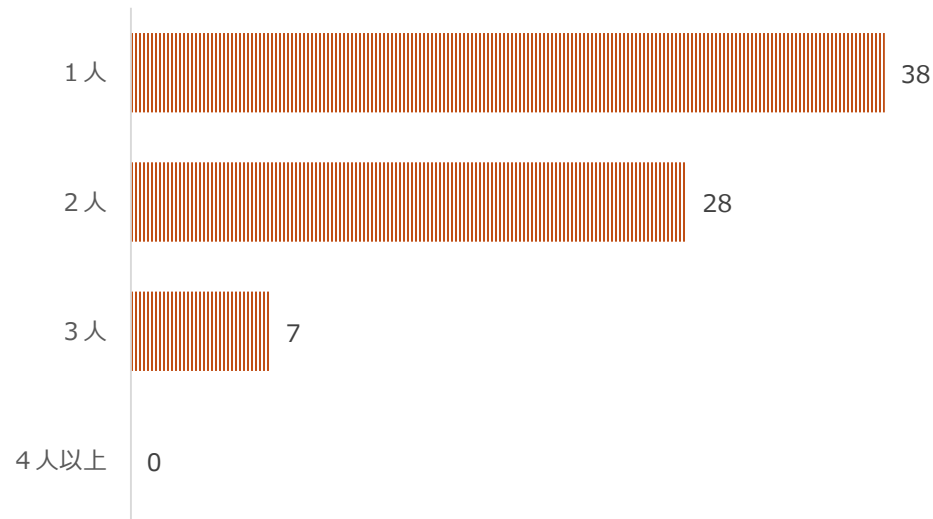
<市内地域の定義>

- 北部：
山手西、山手中央、山手南、山手東、松井ヶ丘、松井、花住坂、大住ヶ丘、大住
- 中部：
新、田辺、田辺中央、河原、東、甘南備台、草内、興戸
- 南部：
飯岡、三山木、多々羅、普賢寺、水取、同志社山手、天王、打田、高船、宮津

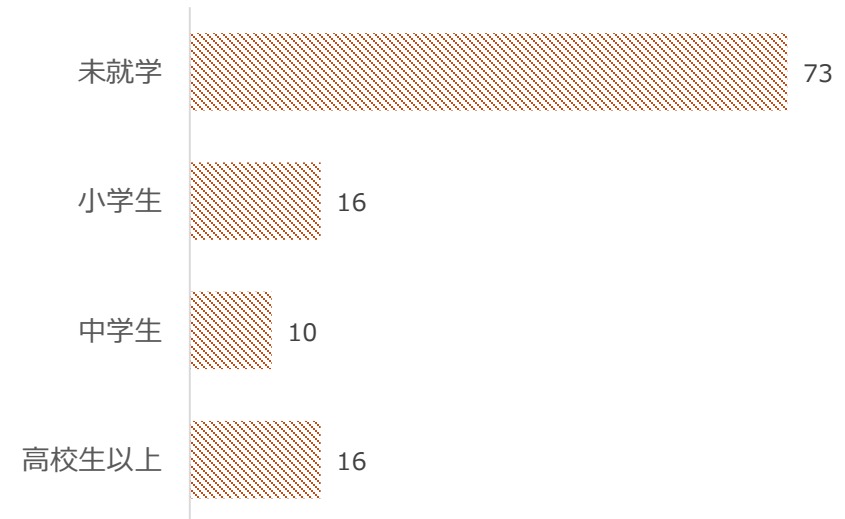
アンケート結果②（こどもがいる世帯）

こどもがいる転入世帯のこどもの人数を見ると、全て3人以下でそのうちの52%がこども1人。
また、こどもの転入のうち、未就学のこどもの転入が73名。

◆こどもがいる世帯の一世帯あたりのこどもの人数



◆こどもの転入者の年齢層

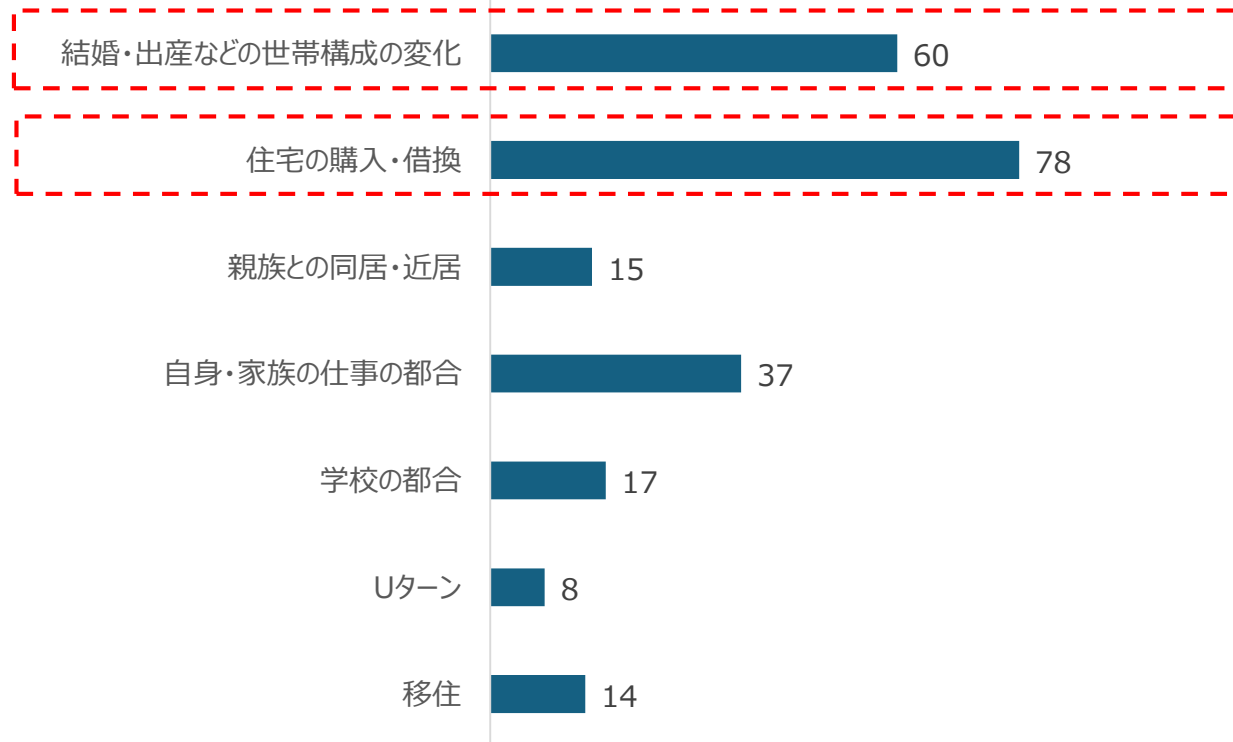


N=73

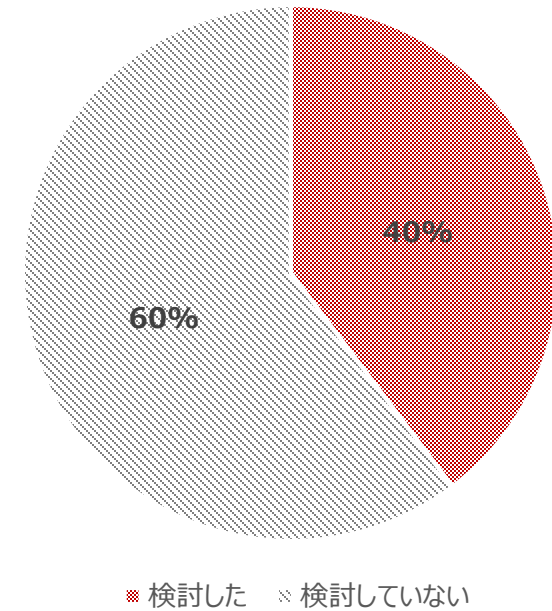
アンケート結果③（転居のきっかけ等）

転居のきっかけとして、「住宅の購入・借換」「結婚などの世帯構成の変化」「仕事の都合」が上位を占める。
転居にあたって、約4割が市外も検討したと回答。

◆転居のきっかけ ※2つまで選択可



◆転居にあたって京田辺市以外を検討したか

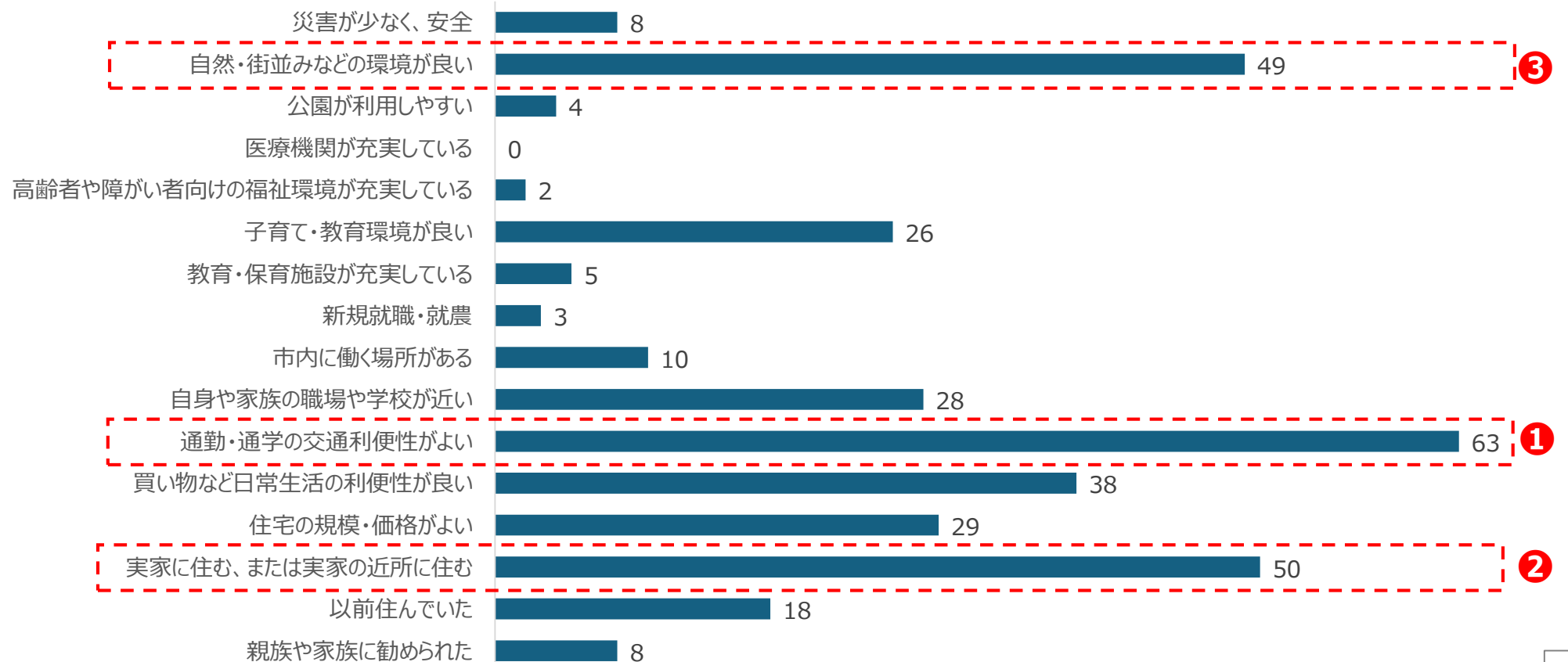


N=194

アンケート結果④（本市への転入理由－全体）

本市を転入先に選んだ理由として、
「通勤・通学の交通利便性」「実家、または実家の近所」「自然・街並みなどの環境の良さ」が上位。

◆転入理由 ※3つまで選択可

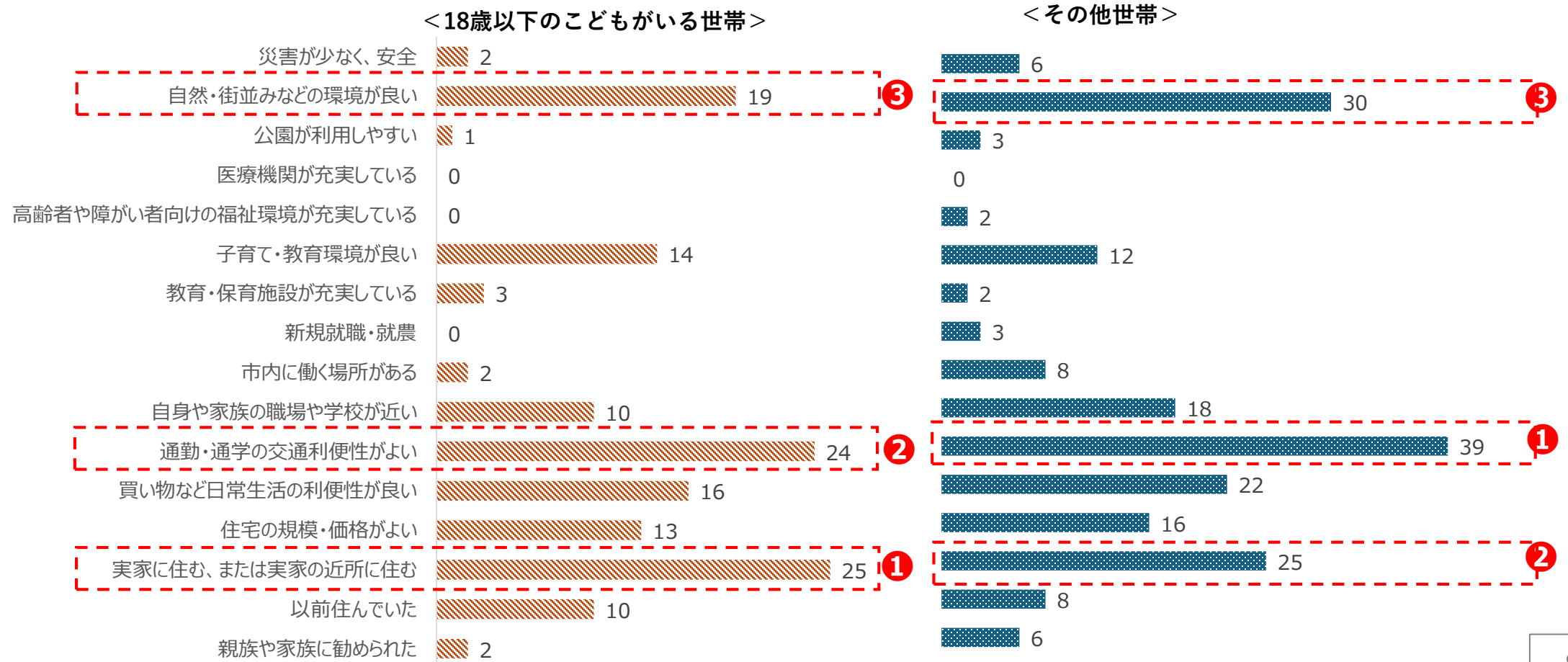


アンケート結果⑤（転入理由―世帯構成別）

本市を転入先に選んだ理由について、世帯構成別に見ると

- ・18歳以下の子どもがいる世帯は、「実家、または実家の近所」「交通利便性」「自然・街並みなどの環境」が、
- ・その他世帯は、「交通利便性」「実家、または実家の近所」「自然・街並みなどの環境」が、それぞれ上位を占める。

◆世帯構成別転入理由 ※3つまで選択可



N=73

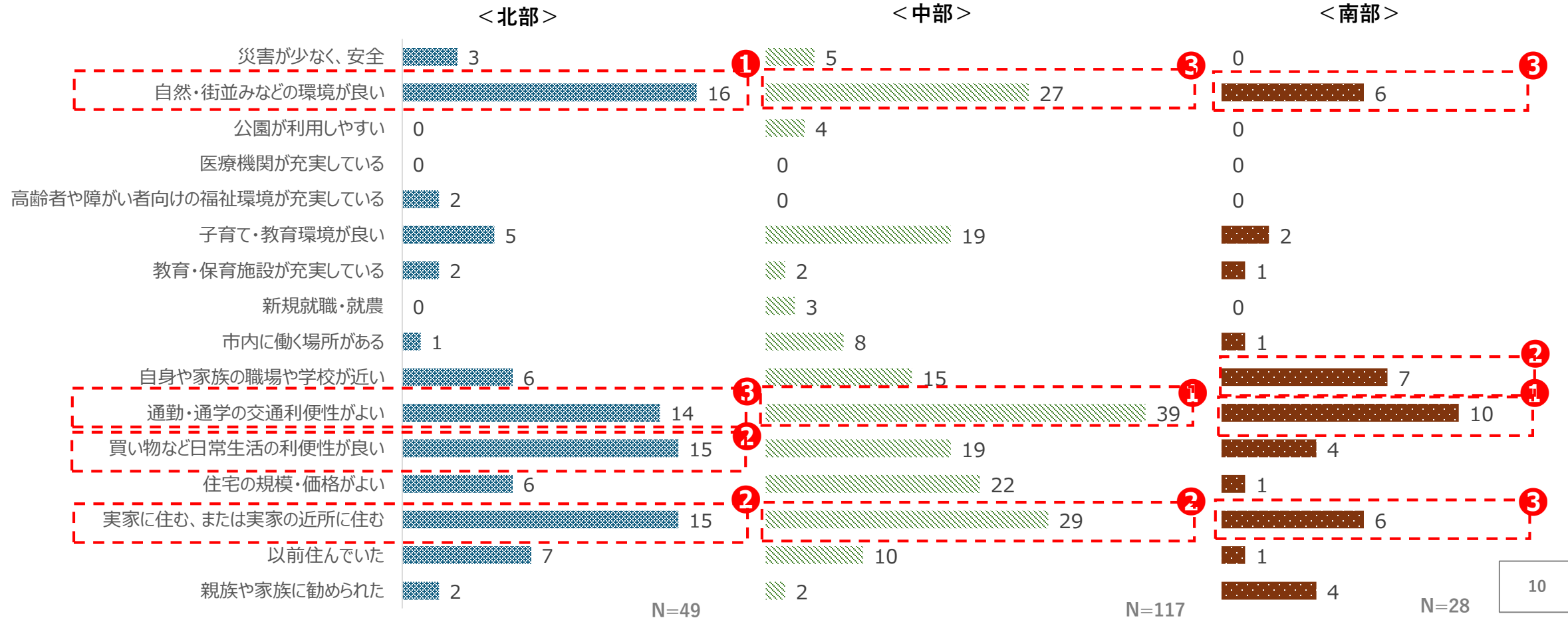
N=121

アンケート結果⑥（転入理由—地域別）

本市を転入先に選んだ理由について、転入先の地域別に見ると以下の特徴。

- ・北部は、「自然・街並みなどの環境」「買い物などの日常生活の利便性」「実家、または実家の近所」「交通利便性」が上位
- ・中部は、「交通利便性」「実家、または実家の近所」「自然・街並みなどの環境」が上位
- ・南部は、「交通利便性」「職場や学校が近い」「実家、または実家の近所」「自然・街並みなどの環境」が上位

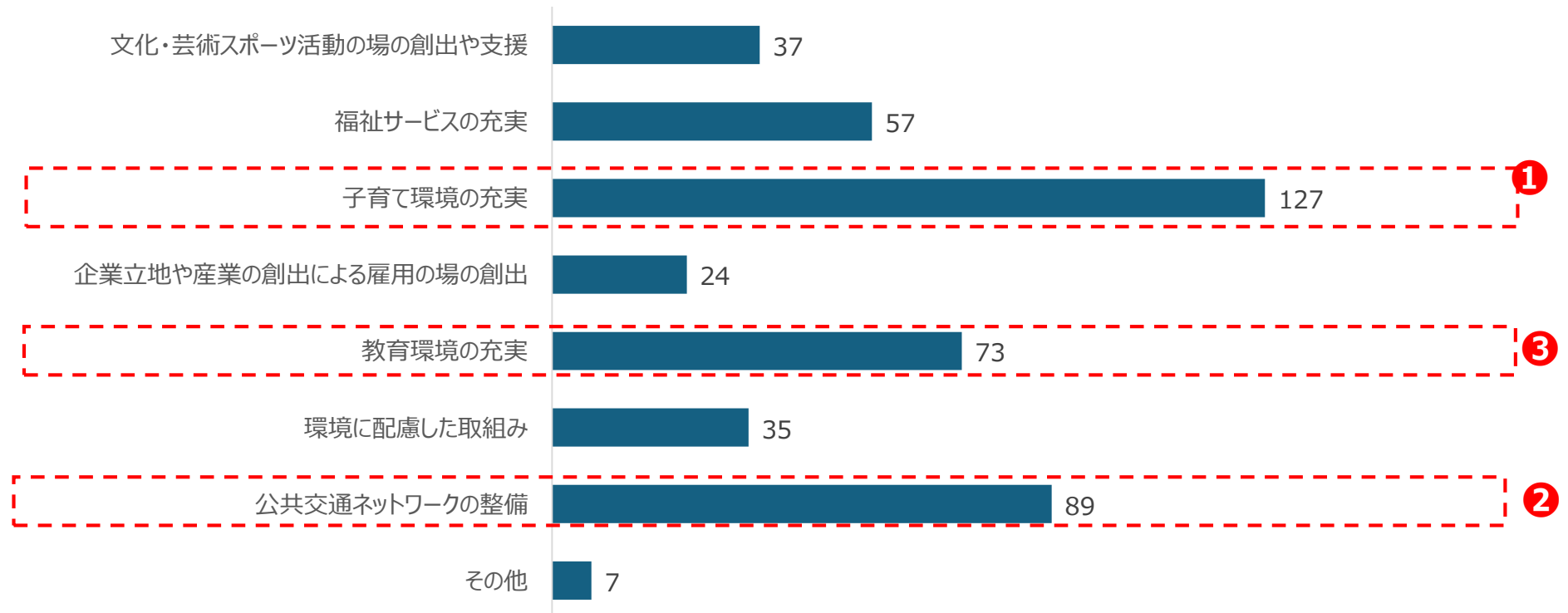
◆地域別転入理由 ※3つまで選択可



アンケート結果⑦（まちづくりへの期待－全体）

本市のまちづくりへの期待として、「子育て環境の充実」「公共交通ネットワークの整備」「教育環境の充実」が上位を占める。

◆まちづくりに期待すること ※3つまで選択可

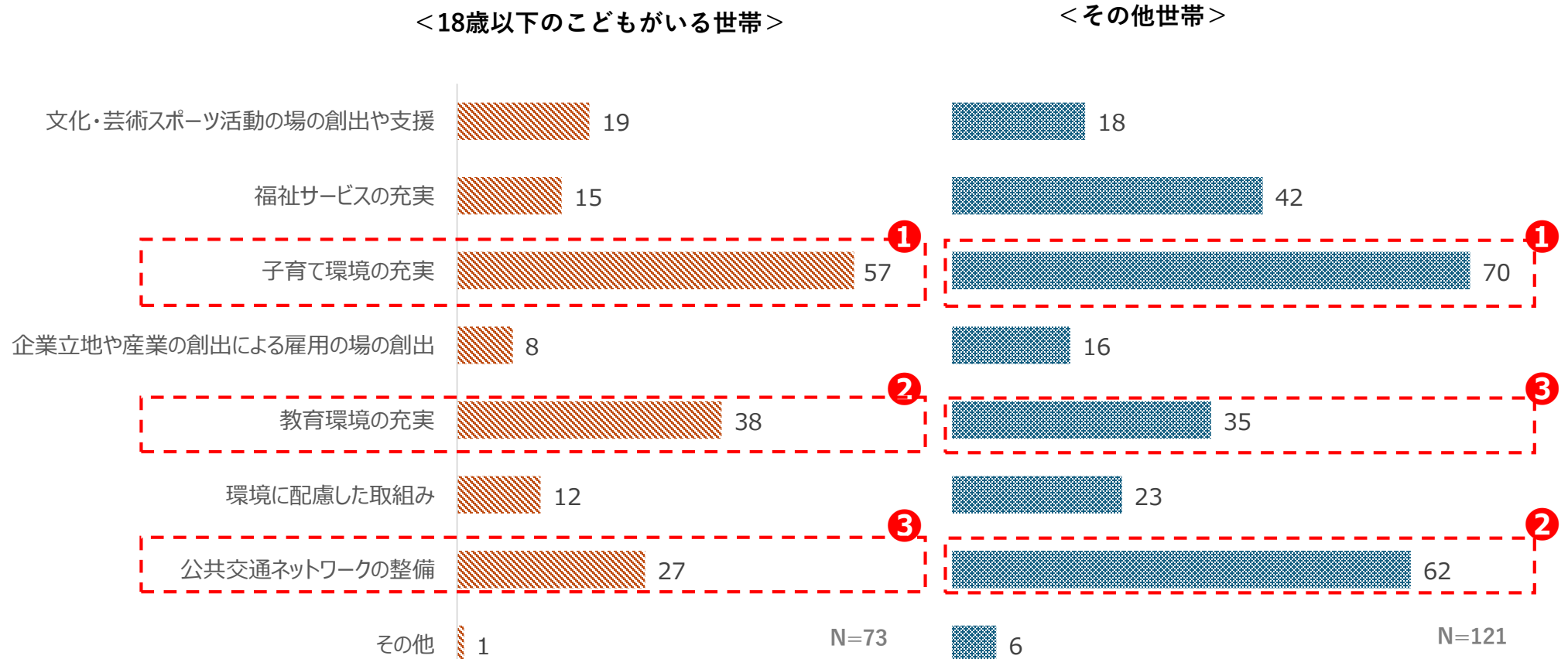


アンケート結果⑧（まちづくりへの期待―世帯構成別）

世帯構成別の本市のまちづくりへの期待として、

- ・子どもがいる世帯は、「子育て環境の充実」「教育環境の充実」「公共交通ネットワークの整備」が、
- ・その他世帯は、「子育て環境の充実」「公共交通ネットワークの整備」「教育環境の充実」が、それぞれ上位を占める。

◆世帯構成別・まちづくりへの期待 ※3つまで選択可



アンケート結果⑨（まちづくりへの期待—地域別）

転入先地域別の本市のまちづくりへの期待として、

- ・北部・中部：「子育て環境の充実」「公共交通ネットワークの整備」「教育環境の充実」が、
 - ・南部：「子育て環境の充実」「公共交通ネットワークの整備」「教育環境の充実」が、それぞれ上位を占める。
- ※特に中部の子育て環境へのニーズが高い

◆地域別・まちづくりへの期待 ※3つまで選択可

